

中井町男女共同参画
推進情報誌

ひだまり

No.26

平成29年度神奈川県・中井町男女共同参画推進市町村連携事業

中井町男女共同参画推進講演会を開催しました 笑顔のパパが 家庭・地域を変える ～仕事も育児も楽しむ方法～



NPO法人
ファザーリング・ジャパン

安藤 哲也

ファウンダー / 代表理事

Fathering (ファザーリング) = 父親であることを楽しもう！

平成 29 年 9 月 9 日（土）に、井ノ口公民館で「笑顔のパパが家庭・地域を変える～仕事も育児も楽しむ方法～」と題した中井町男女共同参画推進講演会を開催しました。

今回は、「Fathering = 父親であることを楽しもう」とする父親を全国で支援している、NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表の安藤哲也さんを講師にお招きしました。

当日は、20 代から 70 代までの幅広い年齢層の方が会場に足を運び、笑い声も聞こえる楽しい雰囲気の講演会となりました。

本号では、その講演会の内容について紹介します。

パパの理想と現実

前号でも紹介したとおり、「イクメン」という言葉が「ユーキャン新語・流行語大賞」のトップ 10 に入り注目されたのが 2010 年。今では、子育てを積極的に行いたいと思う父親が増えてきました。

しかし、子どもの幼少期と仕事の責任が増す時期は重なるもので、平日にパパが家に帰宅するのは 21 時以降が一番多く、子育てしたくても出来ないケースが多いようです。



パパにピンチが訪れるかも！

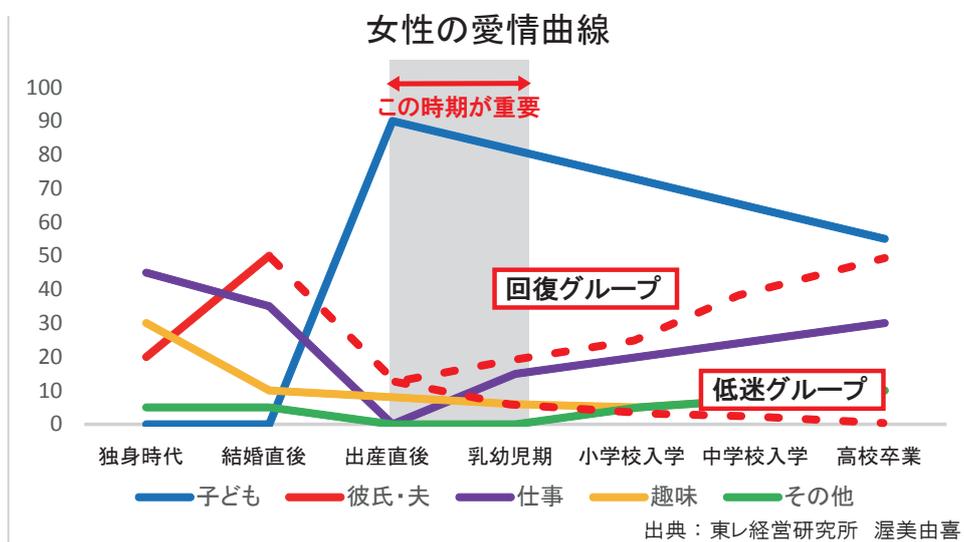
そうすると、パパは子育てになかなか参加できず、ママ一人に子育ての負担が増えていきます。そういった状態が続くと、パパ的には取り返しがつかない事態が待っているかもしれません。

下のグラフを見てください。これは女性の愛情曲線を示したグラフですが、ママのパパに対する愛情指数は出産直後に子どもと入れ替わります。これはやむを得ないことだと思いますが、重要なのは、出産直後から乳幼児期までのパパの家事・育児への携わり方です。

この時期にいかに家事・育児に参加できるかで、その後のパパへの愛情が取り戻せるか、取り戻せないかが決まるそうです。

そうは言われても、仕事も大事だし、お金も稼がなければいけない。

ではどうすればいいんでしょう。



間接的な育児＝ママのケアをすること

平日は仕事で帰宅が遅くなりがちなお父さん。週末だけ育児をするのでは、「オムツを変える」「離乳食を作る・食べさせる」「寝かしつけ」などの直接的な育児は非常にハードルが高いですね。

そんなお父さんたちができる育児として安藤先生がお話してくれたのが、「**間接的な育児**」です。

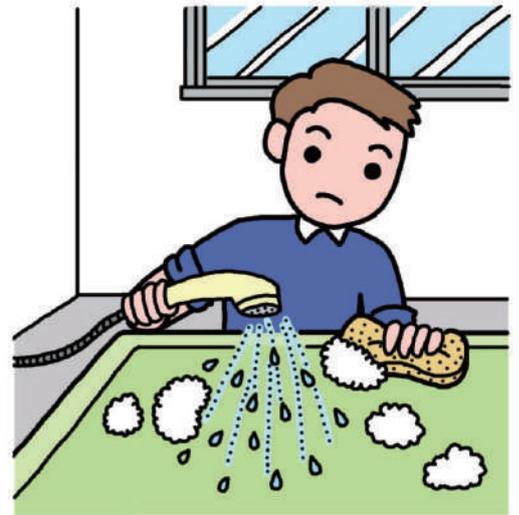
間接的な育児の一例が「お風呂洗い」です。皆さんはお風呂洗いでどうされていますか？浴槽を洗っただけで「俺は家事手伝ってるぜ！」的な感覚になっていませんか？

ファザーリング・ジャパンには約400名の個人会員がいるようですが、会員の全てのお父さんが実施しているお風呂洗いは、浴槽の清掃に加え浴室全体の清掃、石鹸・シャンプーの補充、排水溝の清掃までだそうです。

浴室から、「シャンプー切れちゃったんだけど、新しいの出して！」なんて育児で忙しいママに言ったらママも怒りますよね。

ゴミだしひとつでも、ママがまとめたごみを収集場所に持っていくだけでなく、家の中のごみをまとめることからやれば、ママは楽になりますよね。

間接的な育児は、ママをケアすること・ママに楽をしてもらうことで、家庭の笑顔をつなげるということです。



パパが育児にかかわるメリット

パパが間接的な育児を行うことが、ママのケアに繋がるという話をしましたが、そのほかにもパパが育児にかかわることで、下にあるように多くのメリットがあるそうです。

ママの育児ストレスが軽減される。

ママも就労できキャリアを継続できる。＝家計収入が伸びる。

夫婦関係（パートナーシップ）が強まる。

子どもの成長にいい。（言葉や社会性が早く身に付く。子どものよきモデルになる。）

自活力が付く。（地域に友達も増え、定年後から老後も安心。）

仕事で有効な能力も身に付く。（労働生産性が上がる。）

パパ自身の世界が広がり、人生が楽しくなる。

厚生労働省の2011年実施の「第9回21世紀成年者横断調査」によると、パパの家事・育児の時間が長いほど、第2子が生まれやすいという調査結果となっているようです。

少子高齢化が叫ばれる昨今、パパが育児にかかわることで社会問題まで解決できるかもしれませんね！

パパは、こんなことにも注意をしたい！

パパの皆さんは、良かれと思って「手伝おうか！」という言葉をかけていませんか？

「手伝おうか！」という言葉は、ママが一番イラッとする言葉らしいんです。

なぜなのか。家事や子育てなど、パパもママもお互いが生活するうえで必要なことであり、お互いが当事者なんですよ。子どもだってママだけの子どもではなく、パパとママの二人の子どもですよ。それなのに、当事者のパパがまるで家事・育児はママの仕事であると考え、それを「手伝うよ！」なんてスタンスで言ったら、ママもイラッときちゃいますよね。

また、近年、共働き世帯が増えてきているので、なおさら夫婦の立場は同等ですよ。

その他にも「家族サービス」「休みの日くらいゆっくりさせてよ」なんて言葉もNGワードらしいので、気をつけましょうね！



「手伝おうか！」「家族サービス」はNGワード

ママが幸せであること！

「笑顔のパパが家庭・地域を変える」というテーマのとおり、パパが笑顔であるためには、やはりママが幸せであることが重要だということです。いつも、仕事が終わって家に帰るとママが怒っているのでは、パパも笑顔でいられないですよ！

直接的な育児は出来なくとも、間接的な育児でママを幸せにして、笑顔あふれる家庭にしたいですね！

子どもは、親の姿を見て育っていきます。



いつもパパとママが喧嘩しているような家庭では、子どももストレスが溜まってしまいます。子どもが憧れる笑顔の夫婦を目指しましょう！

ママの笑顔を見る



ママにはパパが付いている



夫婦の笑顔を見て子どもが育っていく

「ひだまり」へのご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

編集 / 中井町男女共同参画推進懇話会 発行 / 事務局 中井町地域防災課

〒259-0197 足柄上郡中井町比奈窪56番地

Tel:0465(81)1110 Fax:0465(81)1443 E-mail:chiiki@town.nakai.kanagawa.jp